

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

支えられたから支えたい

胎内市立 築地中学校 三年 渡 邊 悠 晴 さん

私はこの夏、平和記念式典への派遣生徒として広島を訪れました。ロシアからウクライナへ本格的な軍事侵攻が始まり、私は戦争について考える機会が増えました。調べていくうちに原爆が投下された広島を実際に見て感じたいと思い派遣生徒に立候補しました。広島では原爆ドームや平和記念資料館の見学、平和記念式典への参列などたくさんの貴重な体験をすることができました。私がこのような経験をすることが出来たのも税金の支援があったからです。このように私の生活を支えてくれている税金が他にどんなことに使われているのかを気になり、調べてみることにしました。

調べてみると警察署や消防署、市役所、公立病院、公園、ゴミ処理施設、道路や橋の整備など。毎日通っている学校でも校舎や机、椅子、黒板、理科の実験道具、プール、教科書など。それから、病気やけがで病院に行った時の医療費やお年寄りのための介護や年金など。こんなにもいろいろな場面で公共施設や公共サービスを提供するために使われていることが分かり大変驚きました。

私も今までに税金に助けられたことがあります。それは、私が小学三年生の時の出来事です。ある日、母がくも膜下出血で倒れました。私は頭が真っ白になりどうしたら良いのか分からなくなりました。その時、母から

「救急車を呼んで。」

と言われ急いで119に電話しました。救急隊員の方は落ち着いて対応してくれて数分後に救急車が駆けつけてくれました。不安でいっぱいだった私に救急隊員の方が「もう大丈夫だよ」

と声をかけてくれてとても安心したことを覚えています。あの時、病院に行くことが少しでも遅れていたら母は助かっていなかったかもしれません。救急車を呼ぶことが出来たのも、病院で手術を受けて入院することが出来たのも税金という形で全国の皆が支え合っているおかげです。私はこの出来事を通して、税金の大切さに気付くことが出来ました。

「税金」は払う時はお金という形です。しかし、そこから「支援」や「援助」という温かいものに形を変え、私達の暮らしに潤いを与えてくれています。税金の外側だけを見るのではなく、こうして税金の内側を見てみると、私達を支えてくれているものだと思近に感じ、税に感謝する心が出てくると思います。私は今回、この作文を書くにあたり、税に関して調べてみることで税に関して積極的な考えに転換することが出来ました。

私も将来、きちんと納税し、社会に支えられる子供から支える側の大人になりたいです。